



2020年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年11月13日

上場会社名 株式会社 サニックス

上場取引所 東 福

コード番号 4651 URL <https://sanix.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 宗政 寛

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 企画本部長 兼 管理本部長 兼 経営企画部長 (氏名) 井上 公三

TEL 092-436-8882

四半期報告書提出予定日 2019年11月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	24,538	0.4	1,551	125.4	1,429	107.4	1,140	487.2
2019年3月期第2四半期	24,447	1.2	688	396.6	689		194	

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 1,084百万円 (526.9%) 2019年3月期第2四半期 173百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	23.85	
2019年3月期第2四半期	4.06	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第2四半期	30,108	5,278	17.4	109.84
2019年3月期	31,009	4,193	13.4	87.08

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 5,250百万円 2019年3月期 4,162百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
2020年3月期	0.00	0.00			
2020年3月期(予想)			0.00	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	50,131	1.2	2,248	83.6	2,079	75.8	1,579	557.7	33.04

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期2Q	48,919,396 株	2019年3月期	48,919,396 株
期末自己株式数	2020年3月期2Q	1,114,253 株	2019年3月期	1,114,173 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期2Q	47,805,212 株	2019年3月期2Q	47,805,473 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については(添付資料)3ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	10
3. その他	11
部門別連結売上高	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(2019年4月1日～9月30日)におけるわが国経済は、海外経済の減速による影響がみられるものの、企業収益の好況を背景に雇用・所得環境が着実に改善し、個人消費は増加傾向が見られる等、緩やかな回復基調で推移いたしました。

このような状況の中、当社グループは既存事業を基盤とし安定的な収益構造の構築を優先しつつ、新たな事業・サービスを展開しさらなる成長を目指す「中期経営計画(2019年度～2021年度)」に基づき、「エネルギー事業本部」を新設し5事業部門体制とする組織改編を行いました。

売上高につきましては、前中期経営計画において人員等経営資源の配分を見直し事業規模の拡大を進めたことが寄与し、HS事業部門、ES事業部門はそれぞれ増収となったほか、廃プラスチックの受入物件の精査により環境資源開発事業部門が増収となりました。一方で、SE事業部門はFIT価格の低下にあわせた太陽光発電システムの販売価格見直しにより、またエネルギー事業部門は主に高圧供給先件数の減少等によりそれぞれ減収となりました。この結果、グループ全体の売上高は24,538百万円(前年同期比0.4%増)となりました。

利益につきましては、ES事業部門及び環境資源開発事業部門は増収を背景に、またSE事業部門は減収となったものの材料費等のコスト削減により増益となりました。この結果、グループ全体の損益は、1,551百万円の営業利益(前年同期比125.4%増)、1,429百万円の経常利益(前年同期比107.4%増)、1,140百万円の親会社株主に帰属する四半期純利益(前年同期比487.2%増)となりました。

当第2四半期連結累計期間の各セグメントの経営成績は次のとおりであります。

①SE(ソーラー・エンジニアリング)事業部門

太陽光市場の縮小幅は徐々に減少しつつありますが、FIT価格の低下に対応した販売価格の見直し等の影響により「太陽光発電システム」が減収となりました。この結果、売上高は5,606百万円(前年同期比5.7%減)となりました。

営業損益は、減収となったものの、HS事業部門への人員の異動等による経費削減及び材料原価の低減等が進んだことにより、298百万円の営業利益(前年同期比439.4%増)となりました。

②HS(ホーム・サニテーション)事業部門

HS事業部門の事業規模拡大を目的に、異動及び採用により人員増を図り、一般家屋に係るメンテナンスについて提案をきめ細かく行えるよう営業及び施工体制を強化してまいりました。「白蟻防除施工」が前年同期比8.7%増、「床下・天井裏換気システム」が同36.3%増となり、この結果、売上高は5,884百万円(前年同期比7.1%増)となりました。

営業損益は、人員増による人件費等のコスト増加分を増収分で吸収し、1,235百万円の営業利益(前年同期比0.3%減)となりました。

③ES(エスタブリッシュメント・サニテーション)事業部門

ES事業部門の事業規模拡大を目的に、異動及び採用により人員増を図り、ビル・マンション等のオーナー及び管理会社等提携先との関係を強化してまいりました。主力商品である「防錆機器取付施工(商品名:ドールマンショック)」が前年同期比27.9%増となったほか、「建物防水塗装補修施工」が前年同期比79.8%増となりました。この結果、売上高は1,102百万円(前年同期比21.7%増)となりました。

営業損益は、人員増により人件費等のコストが増加したものの、増収となったことを背景に、137百万円の営業利益(前年同期比6.8%増)となりました。

④環境資源開発事業部門

廃プラスチック類の受入量が減少しましたが受入物件の精査により、「プラスチック燃料」が前年同期比14.6%増となりました。この結果、売上高は8,045百万円(前年同期比10.6%増)となりました。

営業損益は、廃プラスチック類及び有機廃液処理における受入物件の精査のほか、コスト精査による原価低減等により、1,655百万円の営業利益(前年同期比133.5%増)となりました。

⑤エネルギー事業部門

高圧契約件数が減少したこと等から電力小売量が減少したため、売上高は5,041百万円(前年同期比13.1%減)となりました。

営業損益は、売上高の減少による影響が大きく、30百万円の営業損失(前年同期は253百万円の営業利益)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は30,108百万円となり、前連結会計年度末比で901百万円減少しました。主な要因は、現金及び預金が1,402百万円、受取手形及び売掛金が897百万円減少し、有形固定資産が1,180百万円増加したためであります。負債合計は24,829百万円となり、前連結会計年度末比で1,985百万円減少しました。主な要因は、短期借入金が2,170百万円、未払金が1,273百万円減少し、長期借入金830百万円、社債が500百万円増加したためであります。純資産合計は5,278百万円となり、前連結会計年度末比で1,084百万円増加しました。主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益1,140百万円を計上したためであります。

その結果、自己資本比率については、前連結会計年度末13.4%に対し、当第2四半期連結会計期間末は17.4%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、営業活動により819百万円の収入があったものの、投資活動及び財務活動によりそれぞれ1,753百万円及び523百万円の支出があったため、前連結会計年度末に比べて1,515百万円（33.7%減）減少し、当第2四半期連結会計年度末には2,982百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動によるキャッシュ・フローは、819百万円の収入（前年同期は1,468百万円の支出）となりました。主な要因は、未払金が1,356百万円減少しましたが、税金等調整前四半期純利益1,429百万円を計上し、売上債権が897百万円減少したためであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動によるキャッシュ・フローは、1,753百万円の支出（前年同期は417百万円の支出）となりました。主な要因は、有形固定資産の取得により1,492百万円を支出したためであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動によるキャッシュ・フローは、523百万円の支出（前年同期は642百万円の収入）となりました。主な要因は、長期借入金が純額で819百万円増加し、社債の発行による収入が500百万円ありましたが、短期借入金が純額で2,170百万円減少したためであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の連結業績予想につきましては、第2四半期連結累計期間の業績を踏まえて、本日2019年11月13日付で下記のとおり修正いたしました。

売上高につきましては、エネルギー事業部門の売上高減少により前回予想を下回る見込みであります。

利益につきましては、売上高が前回予想を下回るものの、第2四半期連結累計期間の業績が上回ったことで、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益は、前回予想を上回る見通しであります。

2020年3月期 通期の連結業績予想

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	一株当たり当期純利益
前回発表予想 (A)	50,900	1,910	1,810	1,370	28.66円
今回修正予想 (B)	50,131	2,248	2,079	1,579	33.04円
増減額 (B - A)	△768	338	269	209	—
増減率 (%)	△1.5	17.7	14.9	15.3	—
(ご参考) 前期実績(2019年3月期)	50,719	1,224	1,182	240	5.02円

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,238	3,835
受取手形及び売掛金	6,010	5,112
商品及び製品	1,019	444
未成工事支出金	122	398
原材料及び貯蔵品	3,546	3,610
その他	975	1,351
貸倒引当金	△299	△269
流動資産合計	16,613	14,483
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,901	1,824
機械装置及び運搬具（純額）	1,355	1,652
土地	7,811	8,053
その他（純額）	989	1,706
有形固定資産合計	12,057	13,238
無形固定資産	262	319
投資その他の資産	2,074	2,067
固定資産合計	14,395	15,625
資産合計	31,009	30,108
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,188	3,664
短期借入金	12,297	10,127
1年内返済予定の長期借入金	143	132
未払金	3,930	2,657
未払法人税等	462	519
賞与引当金	4	172
再資源化費用等引当金	12	15
その他	2,488	2,545
流動負債合計	23,529	19,834
固定負債		
社債	-	500
長期借入金	210	1,040
役員退職慰労引当金	9	9
処分場閉鎖費用引当金	603	613
退職給付に係る負債	1,642	1,661
その他	819	1,170
固定負債合計	3,285	4,995
負債合計	26,815	24,829

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	14,041	14,041
資本剰余金	1	1
利益剰余金	△8,357	△7,216
自己株式	△1,481	△1,481
株主資本合計	4,204	5,345
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	60	49
為替換算調整勘定	△17	△101
退職給付に係る調整累計額	△85	△42
その他の包括利益累計額合計	△42	△94
非支配株主持分	31	27
純資産合計	4,193	5,278
負債純資産合計	31,009	30,108

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
売上高	24,447	24,538
売上原価	16,943	15,675
売上総利益	7,503	8,863
販売費及び一般管理費	6,815	7,311
営業利益	688	1,551
営業外収益		
受取利息	4	8
受取配当金	1	1
受取地代家賃	32	31
為替差益	8	8
補助金収入	0	2
受取補償金	70	-
その他	12	20
営業外収益合計	129	72
営業外費用		
支払利息	98	101
支払手数料	11	75
その他	18	17
営業外費用合計	128	194
経常利益	689	1,429
特別損失		
災害による損失	377	-
特別損失合計	377	-
税金等調整前四半期純利益	312	1,429
法人税、住民税及び事業税	158	296
法人税等調整額	△40	△4
法人税等合計	117	292
四半期純利益	194	1,137
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	0	△3
親会社株主に帰属する四半期純利益	194	1,140

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益	194	1,137
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2	△10
繰延ヘッジ損益	0	-
為替換算調整勘定	△20	△84
退職給付に係る調整額	1	42
その他の包括利益合計	△21	△52
四半期包括利益	173	1,084
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	172	1,088
非支配株主に係る四半期包括利益	0	△3

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	312	1,429
減価償却費	394	431
のれん償却額	56	—
賞与引当金の増減額(△は減少)	—	167
処分場閉鎖費用引当金の増減額(△は減少)	14	9
再資源化費用等引当金の増減額(△は減少)	9	3
災害損失引当金の増減額(△は減少)	377	—
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	44	61
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△222	△17
受取利息及び受取配当金	△5	△9
支払利息	98	101
売上債権の増減額(△は増加)	37	897
たな卸資産の増減額(△は増加)	△818	217
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△289	△414
仕入債務の増減額(△は減少)	△969	△454
未払金の増減額(△は減少)	△323	△1,356
未払消費税等の増減額(△は減少)	△154	△106
その他の流動負債の増減額(△は減少)	148	180
その他	178	64
小計	△1,111	1,206
利息及び配当金の受取額	5	9
利息の支払額	△101	△97
法人税等の支払額	△296	△306
法人税等の還付額	36	7
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,468	819
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△520	△832
定期預金の払戻による収入	328	659
有形固定資産の取得による支出	△214	△1,492
有形固定資産の売却による収入	0	1
その他	△10	△88
投資活動によるキャッシュ・フロー	△417	△1,753
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減額(△は減少)	742	△2,170
長期借入れによる収入	20	928
長期借入金の返済による支出	△65	△109
社債の発行による収入	—	500
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△88	△118
その他	34	445
財務活動によるキャッシュ・フロー	642	△523
現金及び現金同等物に係る換算差額	△7	△58
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,249	△1,515
現金及び現金同等物の期首残高	5,083	4,497
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,833	2,982

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	SE事業 部門	HS事業 部門	ES事業 部門	環境資源開発 事業部門	エネルギー 事業部門	合計		
売上高								
外部顧客への 売上高	5,947	5,495	905	6,294	5,804	24,447	—	24,447
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	—	—	—	980	—	980	△980	—
計	5,947	5,495	905	7,275	5,804	25,427	△980	24,447
セグメント利益	55	1,238	128	708	253	2,384	△1,696	688

(注) 1. セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用1,696百万円であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	SE事業 部門	HS事業 部門	ES事業 部門	環境資源開発 事業部門	エネルギー 事業部門	合計		
売上高								
外部顧客への 売上高	5,606	5,884	1,102	6,903	5,041	24,538	—	24,538
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	—	—	—	1,142	—	1,142	△1,142	—
計	5,606	5,884	1,102	8,045	5,041	25,680	△1,142	24,538
セグメント利益 又は損失(△)	298	1,235	137	1,655	△30	3,295	△1,744	1,551

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用1,744百万円であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、2019年4月1日付で実施した組織変更に伴い、「環境資源開発事業部門」に含まれていた新電力事業及び2019年4月1日付で新設したエネルギー事業開発部を「エネルギー事業部門」として表示するセグメント区分の変更を行っております。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報は、会社組織変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

3. その他

部門別連結売上高

(単位：百万円)

品 目	期 別	数 量 単 位	前第2四半期 連結累計期間 自 2018年4月1日 至 2018年9月30日		当第2四半期 連結累計期間 自 2019年4月1日 至 2019年9月30日		比 較 増 減	
			数 量	金 額	数 量	金 額	数 量	金 額
太陽光発電システム		kW	31,761	5,564	33,651	5,417	1,889	△146
太陽光発電システム卸販売		—	—	288	—	121	—	△167
その他		—	—	94	—	67	—	△27
S E 事業部門計		—	—	5,947	—	5,606	—	△340
白蟻防除施工		千坪	326	1,831	336	1,991	9	160
床下・天井裏換気システム		—	—	870	—	1,187	—	316
基礎補修・家屋補強工事		軒	2,941	1,110	2,400	969	△541	△141
その他		—	—	1,681	—	1,736	—	54
H S 事業部門計		—	—	5,495	—	5,884	—	389
防錆機器取付施工		本	396	433	498	554	102	120
建物給排水補修施工		—	—	201	—	215	—	14
建物防水塗装補修施工		—	—	79	—	143	—	63
その他		—	—	191	—	188	—	△2
E S 事業部門計		—	—	905	—	1,102	—	196
プラスチック燃料		t	166,179	4,105	143,391	4,703	△22,787	598
発電所売上		—	—	1,518	—	1,644	—	125
有機廃液処理		t	49,841	925	53,801	962	3,960	37
埋立処理		—	—	377	—	470	—	93
その他		—	—	349	—	264	—	△84
環境資源開発事業部門計		—	—	7,275	—	8,045	—	770
売電収入		—	—	5,804	—	5,011	—	△792
その他		—	—	—	—	30	—	30
エネルギー事業部門計		—	—	5,804	—	5,041	—	△762
セグメント間の内部売上高調整額		—	—	△980	—	△1,142	—	△161
売上高計		—	—	24,447	—	24,538	—	91